

# 平成22年度第2回地域連携パス部会の議論の到達点

## 1 平成22年度第1回地域連携パス部会の議論の到達点（確認）

下記の3つのワーキンググループを設置し、各課題について検討する

- ① 区部の脳卒中地域連携パスの標準(統一)様式の検討
- ② 患者説明用のオーバービューの標準(統一)様式の検討
- ③ 在宅期パスの標準(統一)様式の検討

## 2 各ワーキンググループの検討状況 ※WGメンバー名は委員名簿順、★印はWGのチーフ

### ① 区部の脳卒中地域連携パスの標準(統一)様式の検討

WGメンバー:石川委員、★安保委員、山口委員、安部委員、高橋委員

オブザーバー参加:新田委員、弓倉委員

- ・内容を簡略化し、診療報酬請求上で最低限必要な項目にしぼる。
- ・入院時と退院時に機能評価を行う形式のものにする。

### ② 患者説明用のオーバービューの標準(統一)様式の検討

WGメンバー:田中委員、★大高委員、門脇委員、鳥巢委員、新田委員

- ・イラストや図式を多用し、介護保険の申請など、在宅サービスについての説明を加えた様式にする。
- ・パスの一部として、患者情報の記入欄及び患者同意欄を設ける。

### ③ 在宅期パスの標準(統一)様式の検討

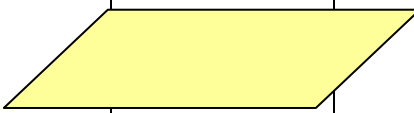
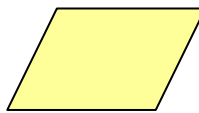
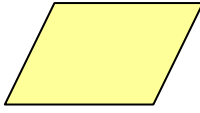

WGメンバー:玉置委員、新田委員、★弓倉委員、東京都医師会の関係委員会メンバー

- ・退院時指導料(Ⅱ)の算定に必要な項目を設ける。
- ・回復期から維持期への連携だけではなく、「在宅生活ノート」として、退院後の在宅生活において長く使えるものにする。

## 3 名称の検討

東京都脳卒中地域連携診療計画書（案）

## 4 全体図

		急性期	回復期	維持期	
東京都脳卒中地域連携診療計画書	患者用	 患者説明用パス			<ul style="list-style-type: none"> <li>・総治療期間や標準的な転院までの期間が示されているもの。</li> <li>・個別の患者ごとに作成し、急性期医療機関入院後7日以内に患者に説明する。</li> </ul>
	医療者用	 急性期パス	 回復期パス	 在宅生活ノート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・退院基準や日常生活機能評価の結果を記載する。</li> </ul>

